

キャリアのためのマテリアル工学論 8223036 栗山淳 講義担当者：前田先生

概要

今回の講義では、経験豊かな研究者であり、東京理科大学の社会連携講座の教員として赴任している前田さんの話を聞きました。前田さんは、大学と企業の研究の違いについて触れてくれました。大学では主に新たな発見を追求するための研究が行われますが、企業ではそれに加えて社会に役立つ研究を行う必要があるという点が異なります。前田さん自身は、ガラスに関する研究に取り組んでいます。さらに、前田さんは就職後に学生時代に習っておいてよかったことと、習っておきたかったことについても話してくれました。学生時代に習得しておいてよかったこととして、無機材料工学の基礎や熱力学、文献の読み方や調べ方などを言っていました。これらの基本的な知識は、研究者としての基盤を築く上で重要です。一方で、学生時代に習っておきたかったこととして、材料力学や英語のスキル、特許の重要性や特許法、明細書の書き方、ある製品の背後にある社会の仕組みや変化を察知・理解する能力、そして競争激化するビジネス環境で勝ち抜くためのシナリオ構築能力だと言っていました。これらの能力は、研究やビジネスを展開する上で不可欠です。

感想

今回の講義を聞いて大学と企業での研究の違いを知れて将来、研究したいと思ったときにどちらが自分に合っているかを判断することができると思いました。また、学生時代に習っておいてよかったことと習っておきたかったことについても話してくれました。無機材料工学の基礎や熱力学、文献の読み方や調べ方といった基本的な知識は、研究者としての基盤を築くうえで欠かせない要素です。そして、材料力学や英語のスキル、特許の重要性や特許法、明細書の書き方、社会の変化を察知・理解する能力、競争環境でのシナリオ構築能力などは、現実のビジネスで成功するために必要なスキルです。これらを今聞けたことは運がよかったと私は思います。この講義は、将来のキャリアに対する視野を広げると同時に、必要なスキルを押さえるための指針を与えてくれました。これらの教えを心に留め、自身の成長に活かしていきたいと感じました。